

<b>学校教育目標</b>	◎真理を愛し、個性を伸ばし、心身ともに健康で情操豊かな人になるために					
	1)自ら学び続ける強い意志と態度を身につけよう				【知】	
	2)自然を愛し、人を思いやる温かい心を育てよう				【徳】	
	3)健やかでたくましい身体づくりに励もう				【体】	
	4)コミュニケーション能力を高め、協力しあい、よりよい社会をつくろう				【公】【開】	

<b>学校概要</b>	創立 51 周年	学校長 萬谷 恵三子	副校長 金子 登	2 学期制	一般学級: 18	個別支援学級: 2
	児童生徒数:	人	主な関係校: 東希望が丘小学校・笹野台小学校・中尾小学校			

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>中 ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
<言語能力> <情報活用能力> <問題発見・解決能力> <自分づくりに関する力>	希望が丘中学校 東希望が丘小学校 笹野台小学校 中尾小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に柔軟に向き合い、主体的に学び続ける子ども</li> <li>・お互いを認め合い、社会とのかかわりを大切にできる子ども</li> <li>・目標に向かってチャレンジし、自信をもって行動できる子ども</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市学力学習状況調査の結果を分析することにより、中学校区の子どもの特性を理解する。</li> <li>・児童生徒指導や特別活動、特別支援教育の情報交換を行う。</li> <li>・小学校と中学校の授業を相互に見学することにより、子ども像を共有する。</li> </ul>

<b>中期取組目標</b>	<p>◎「チーム希望が丘中」として全職員で、魅力と活力にあふれた安心・安全な学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動や意見を発表する活動、協働の場面を積極的に取り入れ「生きてはたらく知」を身に付けさせる授業を推進します。</li> <li>・いろいろな違いをお互いが認め合い、相手の立場を十分に尊重し合う風土をつくることで、人と人とのつながりを深めていきます。</li> <li>・地域活動に主体的に参画し、地域社会に貢献できる力を育てます。</li> <li>・グローバルな視野を持ち、持続可能な社会の実現に向けて行動する意識を高めます。</li> </ul>
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b>	①言語活動の充実を図ることを意識した授業展開の工夫を行っていく。②授業のねらいと振り返りを明確に行い、個々の課題に気づかせるようにする。③学習状況調査の結果を分析し、課題の解決に向けた授業改善を進め、個に応じた生徒主体の学習となるような指導を工夫していく。
担当 学習指導部	
<b>豊かな心</b>	①道徳の授業、国際平和スピーチ、人権作文、募金活動などを通して、人権について理解を深め、自分で考えて実践することで意識を高める。②ボランティア活動への参加を促し、地域の方々と積極的に触れ合う。③生徒会を中心として全校で取り組んでいるあいさつ運動を継続し、校内外で気持ちの良い挨拶ができるようにする。
担当 学習指導部	
<b>健やかな体</b>	①準備運動の一環としてランニングや筋力トレーニングを実施し、継続的なトレーニングの大切さを感じさせる。②新体力テストの結果を分析し、不足している能力を補えるよう、授業の中で克服に努め、体力の向上を目指す。③健康課題(心の体の健康安全)について取り組み、保健教育を行う。
担当 保健指導部・体育科	
<b>児童生徒指導</b>	①日ごろから生徒への声掛けを積極的に行い、全生徒への相談活動を充実させる。②予防的な生徒指導を目標に、子どもの変化に気を配り、教師間の情報交換を密にすることで、組織的に対応できるようにする。
担当 生徒指導部	
<b>特別支援教育</b>	①職員研修の機会を設け、障害特性や具体的な支援方法についての理解を深める。②個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用して、全教職員が関わりながら、それぞれの生徒に適した指導をおこなう。
担当 特別支援支援委員会	
<b>地域連携 学校運営協議会</b>	①学校便りや学校ホームページなどで学校の様子や教育活動を地域に対し広く知らせる。②ボランティア活動の情報をまとめ、子どもたちに知らせることで、地域とつながる機会を作る。
担当 学家連・生徒指導	
<b>自分づくり教育 (キャリア学習)</b>	①1年生では職業講話を、2年生では職場体験を実施する。3年生では進路講話を実施する。②定期的に「進路相談」を行い、進路情報の発信、生徒の意識向上、不安解消に努める。③1年生から「3年間を見通した進路指導」を計画的に進めていく。
担当 特活・学習指導部	
<b>いじめへの対応</b>	①子どもの社会的スキル横浜プログラムなどを学校行事や授業などで活用する。②生徒一人ひとりの状況を把握するために、教育相談を活用し、校長をリーダーとした担任や学年教諭、生徒指導専任教諭からなる組織的なチームで支援を進める。
担当 いじめ防止対策委員会	
<b>人材育成・ 組織運営 (働き方改革)</b>	①校内研修を計画的に実施することにより教師力の向上を図る。必要ときには講師を招聘する等の工夫をしていく。②メンターチームを組織し、研究授業・授業参観等をおして授業力・教師力の向上を図る。③働き方改革プロジェクトチームを立ち上げ、少しでも職員の負担が軽減できるような方法を検討していく。
担当 教務部・学習指導	